

これからも支え合って暮らしていきたい

～ 助け合い精神の富永さんご夫婦 ～

はるかぜ訪問看護ステーション



春日クリニックがかりつけで、訪問看護を利用している富永武男さん。療養期間を経て、家事をするまで元気になりました。今は奥様とお互いを支え合って暮らしておられます。とても素敵なお夫婦ですので、ご紹介したいと思います。(はるかぜ訪問看護ステーション 田中)

富永武男さんは昭和2年生まれの90歳。公務員として定年まで仕事一筋。退職後は山登りや、庭の手入れなどを楽しんでおられました。しかし2年前に持病の再発で入院治療し、退院された後から訪問看護が始まりました。

富永さんは奥様と2人暮らし。訪問看護が始まった当初は元気が出ずに1日寝て過ごす事が多かったようです。そんな富永さんを奥様の芳子さんがいつもそばで支えてこられました。家事やご主人の介護をするかたわら、習字、ピアノ、水泳などの習い事も大切にされるパワフルな奥様です。

治療や訪問看護を受けるうちに、少しずつ活動量も増え、元気を取り戻した武男さん。「忙しい奥様を助けて」と今では、洗濯干し、取り入れとたたみ、お米とぎ、茶碗洗い、お風呂掃除を自分の役割として毎日続けられています。最近では約2kmもある距離を歩いて春日クリニックまで受診されることもあります。

「芳子が倒れたらいかんけん、自分が手伝おうと思った。自分があるのは妻のお陰。これからもできることは手伝って夫婦仲良く暮らしていきたい」と武男さん。また奥様も「元気でいてほしいから、手を出さずに見守っているんですよ。心と身体のリハビリですよ。訪問看護に来てもらうようになって元気になったと思います。」とにこやかに話していただきました。

訪問の際に、お元気な姿を見るたびに、私たちスタッフもうれしくなります。これからもご夫婦が安心して暮らせるようお手伝いしていきます。



お米をとぐ武男さんと、
優しく見守る奥様。



医事課からのお願い

◎ 駐車券回収にご協力ください。

車でお越しになった方には、診療時間に合わせて駐車券をお渡ししています。駐車券がお手元に残っている方は、窓口までご返却いただきますようご協力の程、よろしくお願いいたします。

